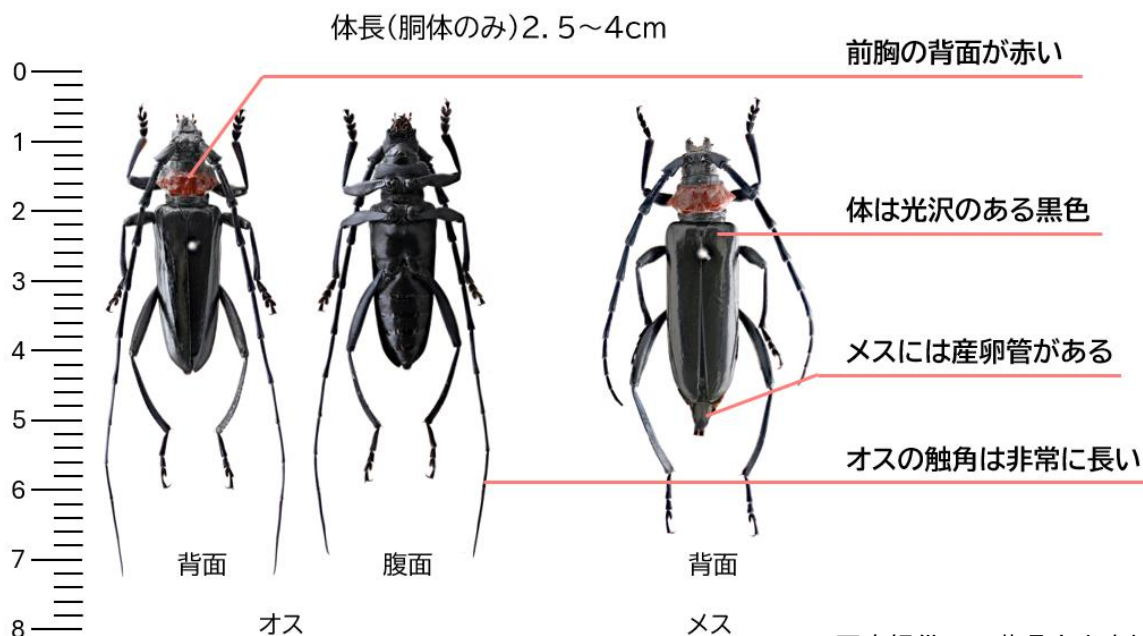


特定外来生物 クビアカツヤカミキリにご注意ください！

- ・令和6年10月に特定外来生物クビアカツヤカミキリの侵入が確認されました
- ・クビアカツヤカミキリの幼虫はサクラ、ウメ、モモ等のバラ科樹木に寄生し内部を食い荒らすため加害された樹木はやがて枯れてしまいます



写真提供：千葉県立中央博物館

特徴

- ・原産地は中国、朝鮮半島、ベトナム北部など
- ・体長(胴体のみ)は2.5~4cm
- ・前胸部の背面が赤く体は光沢のある黒色なのが特徴
- ・成虫は6月~8月にかけて発生する
- ・バラ科樹木(サクラ・ウメ・モモ等)に卵を産み付ける
- ・産卵数は平均300個前後 最大1000個以上で繁殖力が高い



野外でのクビアカツヤカミキリ(千葉県柏市で撮影)

クビアカツヤカミキリの発見方法



- ・クビアカツヤカミキリが寄生すると幹や枝からフラス（糞と木くずが混ざったもの）が5月～9月頃に大量に排出される
- ・クビアカツヤカミキリのフラスはうどん状の連なった形が特徴
- ・幼虫は樹木の内部で2～3年かけて成長する
- ・樹木内部でサナギとなり成虫へ羽化した際に幹に細長い穴（脱出孔）をあけて出てくる

発見したときは？

クビアカツヤカミキリ（死体を含む）や痕跡（フラス、脱出孔）を発見した場合は生物多様性センターまたはお住いの市町村窓口へ通報をお願いします

通報内容

- ①発見した日時と場所
 - ②発見時の状況（フラスが出ていた、成虫がいた等）
- 可能であればフラスや成虫の写真撮影をお願いします

成虫を発見した場合

成虫を発見した際にはその場で踏みつぶす、叩く等の方法で駆除してください

注意事項

クビアカツヤカミキリは人に危害を加える毒等はありません
特定外来生物のため生きた状態での持ち運びが禁止です

お問い合わせ先

- ・お住いの市町村窓口
- ・千葉県環境生活部自然保護課生物多様性センター
TEL：043-265-3601 mail:webmaster@bdcchiba.jp